

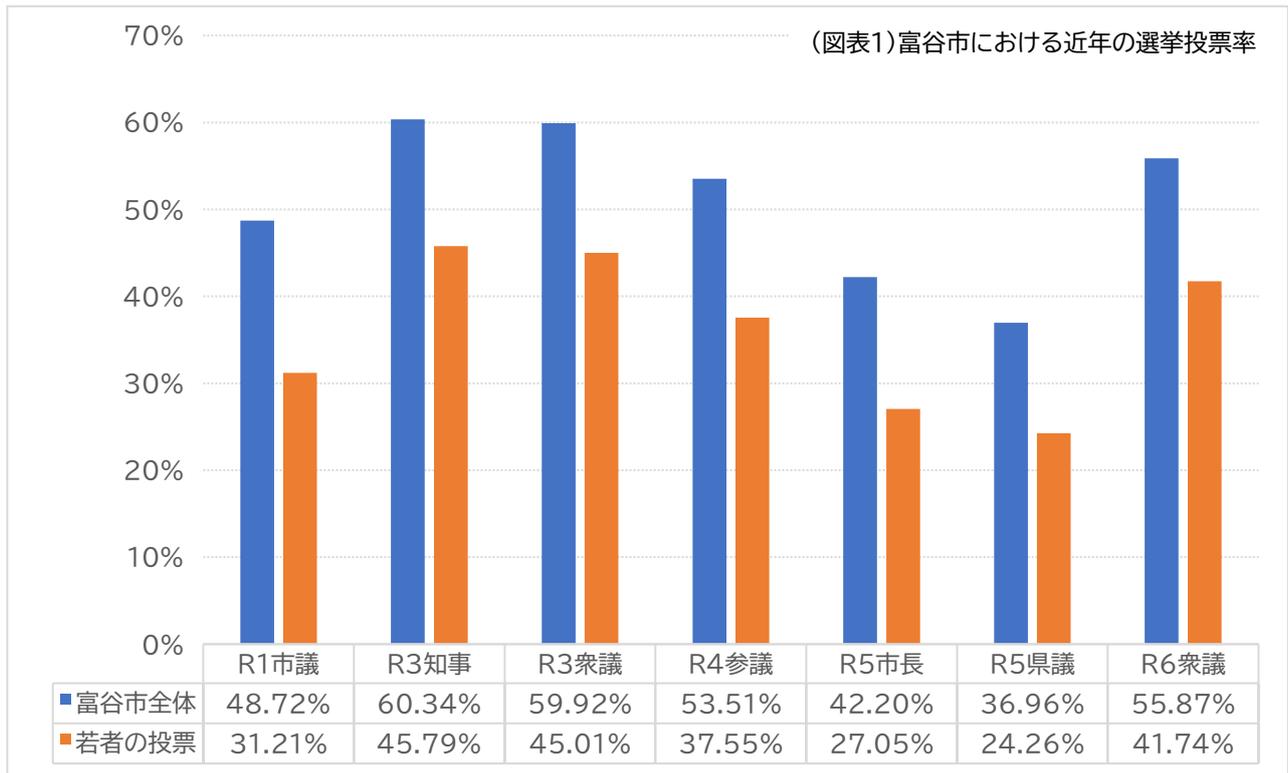
令和6年度 第4回 とみやわくわくミーティング

～若者についての選挙について～

【富谷市における選挙の現状】

富谷市における近年の選挙投票率(図表1)をみると、選挙への関心や政治情勢等により富谷市全体の投票率に差異はありますが、

若者の投票率(10代・20代)が低い状況が続いております。



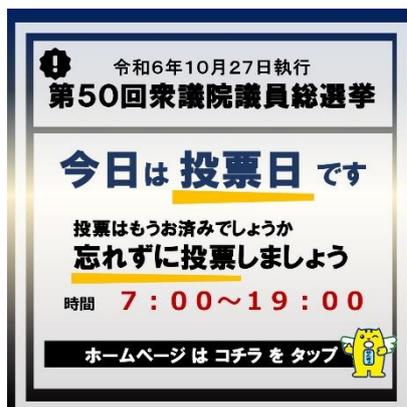
【投票率向上への取組】

富谷市全体の投票率向上を図るため、宮城大学との若年層への選挙啓発など、本市では様々な取組を実施しております。

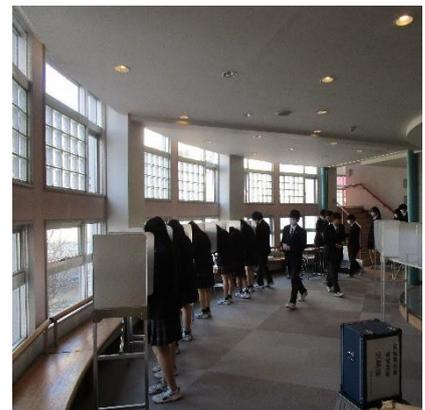
(取組例)



【イモール富谷投票所の開設】



【SNS等での周知】



【選挙出前講座】

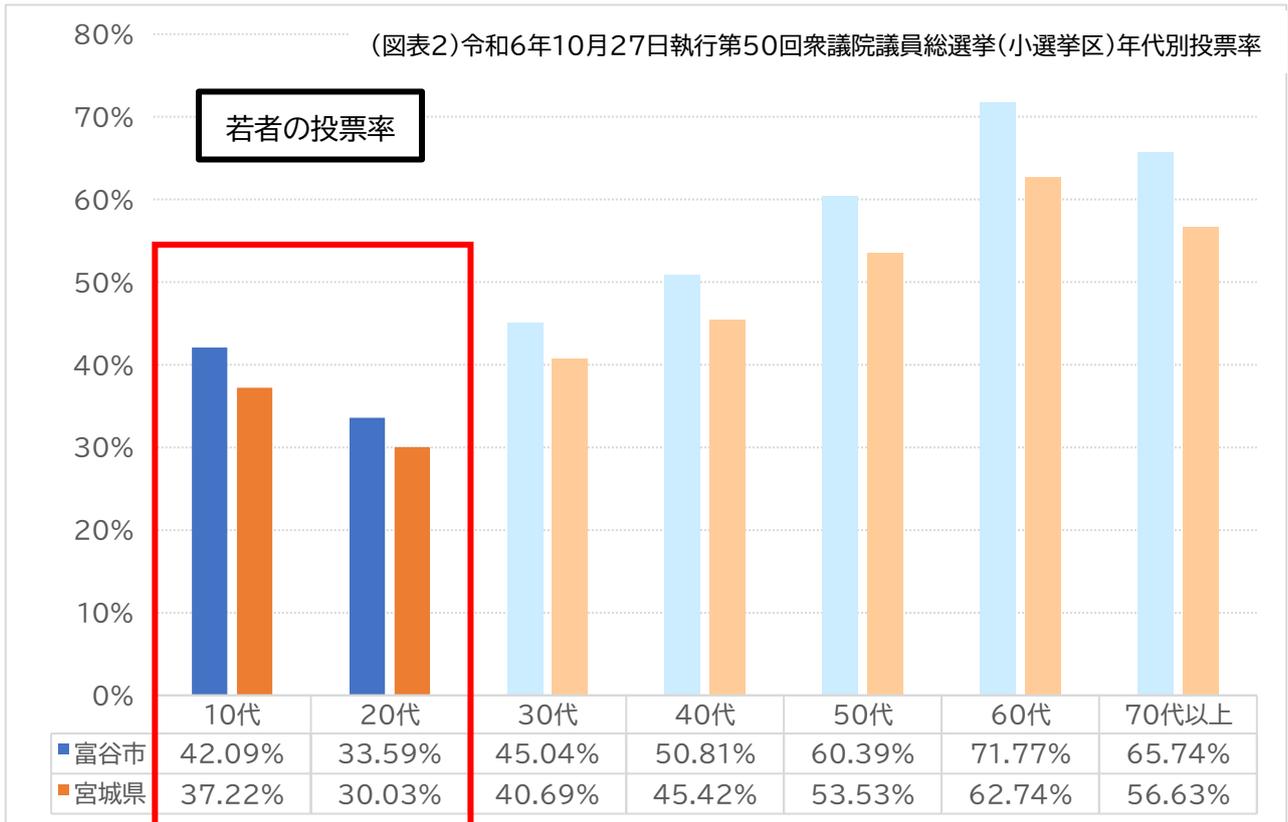
【直近選挙における若者投票率の現状】

しかし、直近の選挙であった令和6年10月27日執行第50回衆議院議員総選挙(図表2)における若者の投票率は、

○富谷市では10代が42.09%、20代が33.59%

○宮城県市町村現状調査では10代が37.22%、20代が30.03% でした。

宮城県市町村平均と比較すると、富谷市の投票率は高い傾向にはあるものの、以前として若者の投票率が低く、20代の投票率が最低であり、次いで10代の投票率が低い結果となっております。



※宮城県の投票率は各市区町村の1投票区の抽出調査で、県が独自で調査したものです

若者の選挙への関心を高め、投票率を上げるためには

どのような方法が考えられるでしょうか？

○選挙教育？ ○更なる SNS の活用？ ○投票手続きの簡素化？

○若者向けの政治施策？ ○投票所へのアクセス改善？ etc